

# 2012 MILANO Salone del Mobile

トーヨーキッチン&リビングが、取り扱うインテリアブランドの2012年ミラノサローネ最新情報

**Kartell**

**Established  
SONS**  
Great Britain

m o o o i

**Tom  
Dixon.**

**SICIS**  
THE ART MOSAIC FACTORY

 agape

**antoniolupi**

**b.d** barcelona  
design

**FOSCARINI**

b o s a ★

FREDE RIQUE M  RREL

Barovier&Toso®

  
BOKJA  
بُوقْجَا



ARTE VENEZIANA®



**DEPHIS**  
MILANO

トーヨーキッチン&リビング株式会社 PR代理元

株式会社ハウ 小池美紀 [miki@how-pr.co.jp](mailto:miki@how-pr.co.jp) / 080-4067-1249

〒107-0062 港区南青山2-22-14 フォンテ青山401 Tel: 03-5414-6405 Fax: 03-5414-6406

## トーヨーキッチン & リビング 取扱いブランド 2012年 ミラノ・サローネ 新作のご案内

2012年4月 ミラノ・サローネで発表された新作を抜粋してご案内いたします。

■Established & Sons /エスタブリッシュド & サンズ■ <http://www.establishedandsons.com/>

フランス人アーティスト Constance Guisset による会場構成のもと、新作の発表を行いました。



左：‘Torch Light’  
Design:Sylvain Willenz Maurer  
既存のTorch Lightに、新色のホワイトが登場

中：‘Hood Lamp’  
Design: Nendo  
一枚の板からスタンドとシェードの役割を担うフォルムを作り出した照明

右：‘Brush Stroke Mirror’  
Design : Ron Gilad  
筆の跡のイメージを表現したミラー



‘Wrong Woods’シリーズにも新作が登場： Designer: Richard Woods & Sebastian Wrong  
Bookcase（本棚）、Tray（トレイ）、Bin（ゴミ箱）などの新作を発表、既存のWrongWoods’のシリーズのバリエーションが増えました。

■ Established & Sons / エスタブリッシュド & サンズ ■



- 左： 'Floating Table' / Designer: Ingo Maurer  
 テーブルに脚のない浮遊感のあるテーブル&チェアのセット。テーブルの脚の役割は椅子が担い、椅子は前後に移動できるようにテーブルに固定されている。光の魔術師と言われるインゴ・マウラーが手がけた家具ということもあり、注目を集めました。
- 右： "Udukuri" / Designer: 長坂常  
 日本古来の浮造（うづくり）の技法で製作した机に樹脂を流し込んだ作品。



- 左： 'Jaw' / Design: Raw Edges/ ユニットで高さの調整できる機能を持った収納。
- 中： 'Sinker' / ESTD Collection/ ESTDコレクションより発表された照明。
- 右： 'Serve Table' / ESTD Collection/ ESTDコレクションより曲げ木のローテーブル。



- 左： 'Sway' / Design: Marten Claesson, Eero Koivisto & Ola Rune  
 スウェーデンの建築ユニットのClaesson, Koivisto & Rune によるDNAのスパイラルを模したアクリル製の照明。ディスクが幾層にも重なったような構造が美しい影を作り出します。
- 右： 'Golconda' / Design : Luca Nichetto  
 テーブルランプ。黒いコートと山高帽を身にまとった男が雨粒のように地上に落ちてくる、ルネ・マグリットの絵画'Golconda'からインスピレーションを得た作品。

■KARTELL /カルテル■ <http://www.kartell.it/>

Fiera会場では、新作と共に、製作過程の映像やスケッチなど、工程のプレゼンテーションも行いました。今年、カラーバリエーションを増やし、また、素材のラインナップも豊富になっています。ファブリックを使用し、座り心地の良さも追求。今後、小物も充実させて行く予定です。

吉岡徳仁氏の 'INVISIBLES LIGHT COLLECTION'

2010年に発表した 'The Invisibles Collection' が、より軽やかに薄くなり、バリエーションも増えました。プラスチック成形でありながら透明な仕上がりが特徴。



上左： 'INVISIBLE TABLE LOW'  
上右： 'INVISIBLE ARMCHAIR'  
下： 'INVISIBLE TABLE' と Philippe Starck の 'MASTERS  
のスタイリング





左： 'ABBRACCIAIO' /Design: Philippe Starck with Ambroise Maggiar  
アルミ成形のキャンドルホルダー。抱擁のイメージ。

右： 'TAJ' /Design: Ferruccio Laviani  
照明としての機能だけでなく、彫刻的な美しさを持つ照明。今年はスモールサイズが登場。



左： 'MISS LESS' /Design: Philippe Starck

右： 'One More, One More Please' /Design: Philippe Starck



左： Patricia Urquiolaの'Comb Back Chair' 製造プロセスの展示

中： Patricia Urquiolaの'Comb Back Chair' スケッチ

右： Philippe Starckの'ONE MORE, ONE MORE PLEASE' スケッチ

■ **KARTELL** /カルテル■ <http://www.kartell.it/>

市内のショールームでは、音楽、アート、ファッションの世界でも象徴的存在とも言える、レニー・クラヴィッツ（およびKRAVITZ DESIGN INC）をパートナーに、' **STARRING LENNY KRAVITZ + PHILIPPE STARCK** ' のタイトルのもと、レニー・クラヴィッツ、フィリップ・スタルク、カルテルのコラボレーションが実現。

パイソン、ファー、織布などを使用し、エキゾチックに、レニー・クラヴィッツのワイルドな面が表現されました。レニー・クラヴィッツ自身は「スタルクは非常に心強いサポーターであり、このコラボレーションを非常に楽しむことができた。The Kravitz Designがチームに加わったことで、the Mademoiselle ChairとRock'n Rollがオートクチュールの域に高めたようだ。」とコメントしました。スタルクは、「the Mademoiselle Chairは、木、石、金属などで彩られてはいるが、記憶、ライト、音楽のような目に見えないものが家具を形作っている要素だ。レニー・クラヴィッツは、彼自身の世界を、椅子や照明のような形あるものとして表現する時期に来ているのかもしれない。」とコメントしました。



■moooi /モーイ■ <http://www.moooi.com/>

オランダ人とベルギー人のデザインデュオの Studio Jobがデザインしたコレクション”Altdeutsche Möbel”を発表しました。ラインナップはブランケット・チェスト、振り時計、戸棚の3種。

古代ゲルマン民族の遊び心のあるデザインで、フランク王国の文化を反映させたデコラティブなグラフィックが施されている。松素材を白いキャンバスに見立て、手作業で仕上げ、複雑な表現。一方は機械化され、道具を使って働き蜂のように働く労働者、もう一方は常に内部と世界を見つめる哲学者。生命の本質を示唆するような象徴的なモチーフ、バナナや羽根、鍵、バラ、スカルなどが描かれています。その周囲をモチーフが繋がり取り囲むことで、混沌としながらも、神秘的な自然の生の美しさや神秘的なイマジネーションを表現しています。

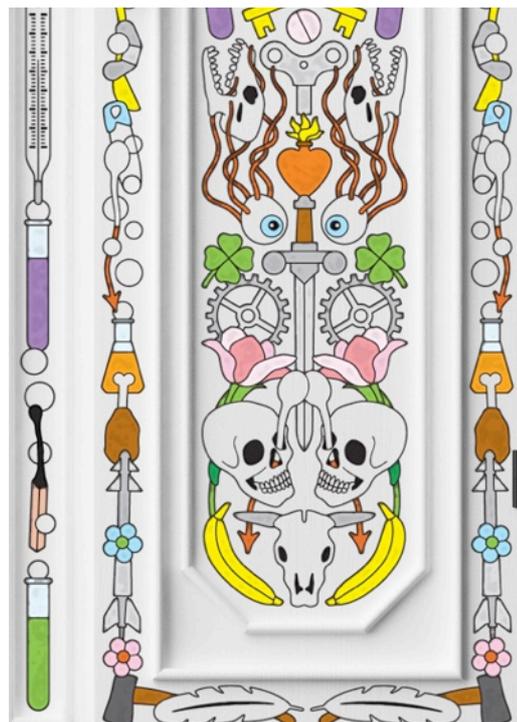


上中：'Altdeutsche grandfather clock'

上中：'Altdeutsche cupboard'

上右：デザイナー Studio Job

中左：Altdeutsche blanket chest'



下左、下右：家具に施されたグラフィックのズームアップ

■ **Tom Dixon.** /トム・ディクソン ■ <http://www.tomdixon.net/>

今年、Tom Dixonは、発表の場をTortonaから科学博物館（レオナルドダヴィンチ博物館）に移し、新作展時をはじめとするイベントを行いました。



左・中： 'Fin Light'

内部に隠れたアクリル製のレンズと6つのLEDの効果で、落ちる影が花びらのように広がる。

右： 'Etch Light Web'

幻想的な球体の影がダイヤモンドのような影を落とす照明。



Tom Dixon.の技術力を見せるため、右の照明の製作過程を見せるプレゼンテーション。

[http://www.youtube.com/watch?feature=player\\_embedded&v=GFbSc255PPE](http://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=GFbSc255PPE)



左：“Spring Table restaurant at MOST” として、期間中にポップアップレストランも登場

右：dezeenが常駐し、編集長自ら取材、またTAAR MAGAZINEとタイアップし連日トークショーを開催。

<http://most.tomdixon.net/event-list>

■ **SICIS** /シチス ■ <http://www.sicis.it>

Fiera会場では、2010年から展開しているモザイクと家具を融合したコレクション、'NEXT ART' の新作を発表。昨年までのシルクとベルベットに加え、商業空間でも耐用性の高いテクノファブリックを開発し、3種の素材と豊富なカラーバリエーションからオーダーが可能になりました。通常のソファより1段低いソファも発表、シューフィッティング用ソファなど広い用途での使用が可能。クリスチャン・ラクロワが発表したソファにも新色が登場しました。（下段中央）



モザイクを使用したジュエリーも発表。  
ミラノサローネ期間中には、市内ショールームにて、VOGUE Italiaとのコラボレーションイベントを開催。5月末には、ラスベガスでもプレゼンテーションを行った。

<http://www.vogue.it/en/people-are-talking-about/parties-events/2012/04/sicis-and-casa-vogue-party>

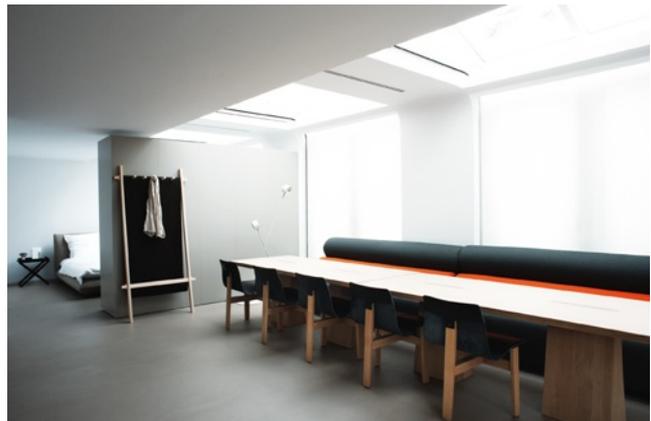
■Agape /アガペ■ <http://www.agapedesign.it/>

今年の新作は、ミラノサローネ期間中の4月17日に、850平米、4フロアからなる、新しいショウルームをオープン。Agape製品だけではなく様々なブランドの家具や小物も展示販売され、ギャラリーやデザインセンターのような趣のショウルームになっています。トータルで生活空間を提案、購入が可能です。



左：Flat XL CON NIVIS

右：PEAR/Design:Patricia Urquiola/洋梨のようなフォルムのバスタブに、ビルトイン機能がついた新しいバージョン。



**ショウルーム 'Agape12'**

左：ヨーロッパを中心とした家具ブランドがセレクトされていました。

右：Angelo Mangiarotti のオリジナル家具が配された3F。

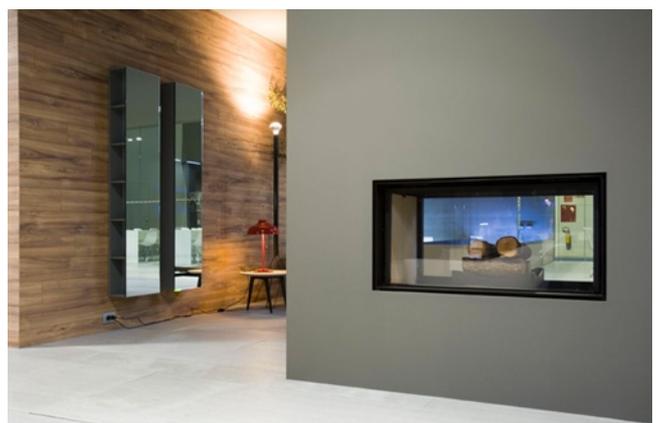
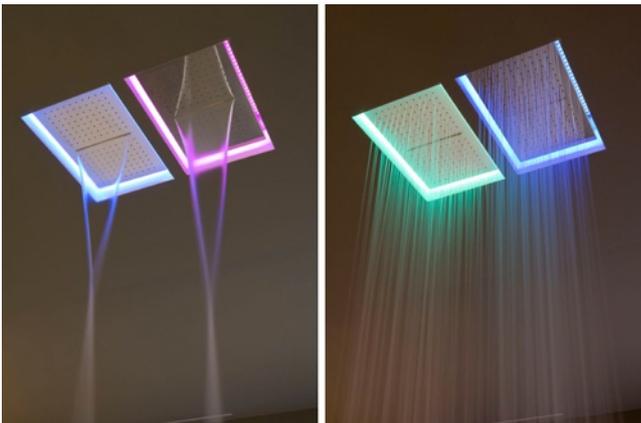
■ **Antonio Lupi /アントニオ・ルピ** ■ <http://www.antoniolupi.it/>

テクノロジーの進化を感じさせる新作、また、新素材を活用し、既存商品にバリエーションを増やしました。AWATER AND FIRE, THE EMOTION OF A PROJECTとして、新しいシャワーシステムのプレゼンテーションや、バスと共に生活をしているような空間を家具やファイヤープレイスと共に提案しました。



Exelen/Design: Gabriele & Oscar Buratti

様々なユニットを組み合わせが可能な新しいバスユニットの提案。また、オーバーフロー用の穴がなくオーバーフローする際には、圧力で下の排水穴から排水されるような新しい技術が導入されている。



- 左： シャワーのプレゼンテーション
- 右： ファイヤープレイスのプレゼンテーション

■ **BD Barcelona Design** /BD バルセロナ・デザイン ■ <http://www.foscarini.com/>

創業40周年を記念し、FIERA会場でソットサスの復刻作品を展示。また、既存の人気商品の新色や、新素材も発表しました。



右： Gaulino Table with glass top/ Design: Oscar Tusquets/ 昨年発表した同シリーズのガラス天板タイプ。  
左： 1970年代にソットサスがデザインしたBD Barcelona Design社のカタログなど



左： LOUNGER/ Design : Jaime Hayon/ 新色を発表  
中： Mettsass/ Design: Ettore Sottsass Jr./ 1972年にソットサスがデザインしたテーブルの復刻  
右： Shiba flower vase/ Design: Ettore Sottsass Jr./フラワーベース

■ **Foscarini/フォスカーニ** ■ <http://www.foscarini.com/>

今年もトルトーナ地区で、新作を発表しました。



左・中： 'BEHIVE SUSPENSION'/ Design: Werner Aisslinger  
テーブル/フロアランプとして展開していたBEHIVEシリーズに、ペンダントタイプが登場。  
右： 'STEWIE'/ Design:Luca Nichetto

■Bosa /ポーサ■ <http://www.bosatrade.com/>

イタリアのセラミックブランド、Bosaからは、セラミックのオブジェの新作と共に、今年は、機能性の高いアイテムのラインナップが揃いました。



- 左： 'hope bird' / Design : Jaime Hayon  
テーブルサイズのオブジェ。誇りを持って前を見つめている。ポジティブに前を見つめる大切さをゴールドが反射しています。
- 中： 'Fantasmiko' / Design : Jaime Hayon/ マントルピースに飾られる時計を現代的に解釈したもの。
- 右： 'Domsai' / Design: Matteo Cibic/  
プラントベースの機能を持つオブジェ。ガラスのドームの中に、植物などを入れることが可能。



'SISTERS' (左から'FRIDA' 'SOFIA' 'LOUISE' 'CLARA' 'HELEN')  
Design : Pepa Reverter

女性に敬意を表したフラワーベースのコレクション。家庭を守る女性とその家に存在する様を表現。



- 左： "Ki'nesis"  
Design: Salvatore Indriolo  
照明とスピーカーの機能をあわせもつ彫刻的な作品。WiFi、Bluetooth接続可能
- 中： "Brera"  
Design: Gualtiero Sacchi  
アロマディフューザーの機能を持つセラミックベース。スティック、フレグランス付
- 右： 'Trumpet'  
Design : Matteo Zorzenoni  
トランペットを思わせるフォルムにガラスのドームをかぶせた照明。

■ **Fredelique Morrel/フレデリック・モレル** ■ <http://www.frederiquemorrel.com/>

現在フレデリック・モレルが掲げる2つのテーマ、‘Flight’ と‘シンメトリー’を中心に新作を発表しました。



© Frederique Morrel. Photo Philippe Cluzeau/左上のみ © Rossana Orlandi

■ **Bokja /ボクジャ** ■ <http://www.bokjadesign.com/>

懐古主義への疑問と共に、未来への強い望みを表現している作品を発表。また、戦争について、断片的な記憶しか持たない世代に向けても、レバノンの地図をサンドバッグに見立てて吊るし、インスタレーションを行いました。

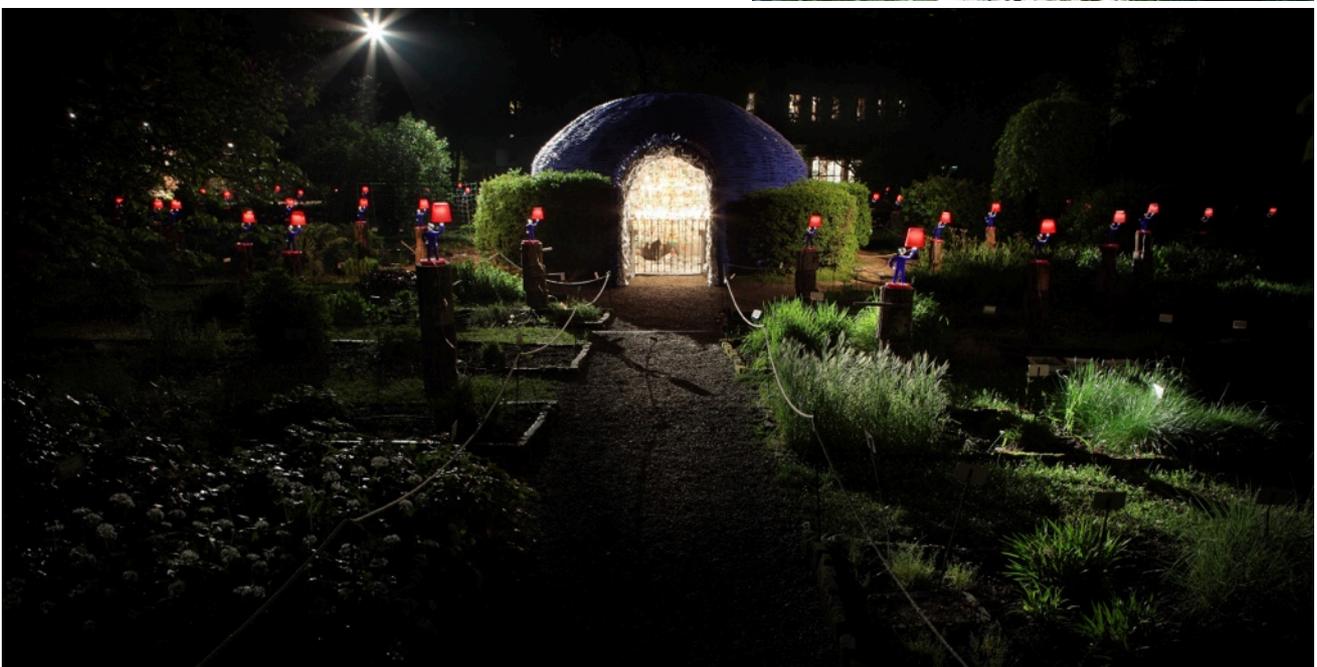




市内ショールームでは、ベネツィアングラスの照明類の新作を展示。また、インスタレーションとして、ブレラ地区のOrto Botanico(ボタニカル・ガーデン)を舞台に、“The Secret Garden”として、Paola Navoneディレクションのもと、プレゼンテーションを行いました。

同時に、Zaha Hadid はCitcoの大理石の壁材や床材を用い、会場構成を担当。ともに 高い職人の技術で作品づくりをする2ブランドが、それぞれの専門分野を活かしたコラボレーションをしました。

\*上段左の照明は、新作 Colimacon。



■PP Møbler / PP モブラー■ <http://www.pp.dk/>



今春からトーヨーキッチン&リビングで取り扱いがスタートしたPP Møblerは、Fiera会場で、既存商品を中心に、新色や新素材で発表を行いました。

'PP68' / Design: Hans J Wegner

■Memphis, Post Design /メンフィス、ポストデザイン■ <http://www.memphis-milano.com>

Alberto Biagettiによる新作家具を発表した。'The Ground' シリーズは、カトマンズでハンドメイドされたカーペットで、砂漠、森、川、クレーターなどの自然に着想を得た作品。'The River' シリーズは、アースカラーの家具にグラデーションをつけ、ペイントした作品。



▼掲載に関するお問合せ▼

トーヨーキッチン&リビング株式会社 PR：株式会社ハウ 小池美紀 [miki@how-pr.co.jp](mailto:miki@how-pr.co.jp) / 080-4067-1249  
〒107-0062 港区南青山2-22-14 フォンテ青山401 Tel: 03-5414-6405 Fax: 03-5414-6406

▼読者お問合せ先▼

トーヨーキッチン&リビング tel.03-6438-1040 <http://www.toyokitchen.co.jp/>